

# 庄原で

shobara U・I-turn guide  
city.shobara.hiroshima.jp

# 暮らす

だいたいこのへんが広島県庄原市です



9741155



## communication

### しょうばら愛サミット



#### 「仲間づくり」で「まちづくり」

平成25年2月に開催した第1回の「しょうばら愛サミット」は、庄原市にUターンした方を参加対象として、「庄原にきた理由」や「私がやりたいこと」「みんなでできること」を出し合いながら交流を深めました。これからも、いろいろな人同士のつながりを広げる場面を創っていくので、庄原市に移住するならば、ぜひご参加ください！  
一緒に楽しくまちづくりに取り組んでくれる人、大募集しています！



人と人のつながりが広がることで、まちがもっと楽しくなる、元気になる！

庄原市に住む人たちの新たなつながりや、まちづくりに関わる場面をつくっていきましょう！



## access



【車で】

広島 I.C	約91km 約1時間20分	庄原 I.C
松山 I.C	約184km 約3時間20分	
門司 I.C	約274km 約3時間30分	東城 I.C
岡山倉敷 I.C	約107km 約1時間30分	
高松中央 I.C	約171km 約2時間30分	東城
吹田 I.C	約247km 約3時間10分	
福山	約60km 約1時間30分	

【高速バスで】

出雲	中国バス・一般バス 1時間39分	三次	庄原
松江	一般バス・広島地鉄 1時間57分		
米子	日本交通・日ノ丸自動車・広島電鉄 2時間3分	東城	
広島	備北交通 1時間50分		
新大阪	中国バス・阪急バス 乗り3時間42分		

【空路で】

広島空港	1時間40分	庄原
------	--------	----

【JRで】

広島	快速・三次乗換 2時間	備後庄原
----	----------------	------

定住に関するご相談は  
庄原市役所自治振興課 ☎ 0824-73-1257  
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10-1 電話:(0824)73-1111 FAX:(0824)72-3322  
メールアドレス shobara@city.shobara.hiroshima.jp web site www.city.shobara.hiroshima.jp





初心者でも楽しめる  
トレッキングコースは  
おすすめ!

自然がいっぱい!  
夏の庄原とっても楽しいよ!!

国営備北丘陵公園の  
ウインターイルミネーションは  
幻想的です!!

山野草の宝庫といわれる  
吾妻山は絶好の  
ハイキングスポット!  
絶景です!

夏は涼しく格好の避暑地  
となる庄原エリアは  
とっても快適!



大自然の中で育った  
お米や野菜は抜群に美味しいんよ!

国の重要無形民俗文化財の  
比婆荒神祭は大迫力!

しゃっぽー!

ウインタースポーツを  
身近で楽しめちゃう!

国定公園帯根峡は  
断崖や奇岩が迫力!!

自然の恵み、農業の  
大切さを引き継ぐ為に  
勉強中です!

森、水、土

人にとって大切なもの  
ここ庄原に豊かにあるもの  
自然の中で暮らすこと  
それは、とっても楽しいこと!

a new life start from shobara





ほせい ずん みるい  
 細井 澄秋さん(28歳)・実礼さん(28歳)  
 こっせい  
 暉晴くん(3歳)  
 高知県高岡郡出身の澄秋さん、広島県福山市出身の実礼さん。2008年に移住し、現在は30haの水田と100頭の肉牛を育てる農業法人の後継者として働く。



「目指すは“農業界のヒーロー”です」

「トラクターに乗る祖父を見て、カッコイイ!」と思ったのが農業。周囲の人は、どんな人が来たのかを志したきつかけです。その語るのば、庄原市七塚町の農業法人で稲作に勤む細井澄秋さん。同町にある広島県立大学(現・県立広島大学)で農業の経済や経営などについて学んだ後、福山市の畜産会社に就職したが、「庄原の農家が後継者を探している」という話を受けて、この地への移住を決めた。いつか自分の牧場を持つのが夢だったので、これはチャンスだ。しかも庄原は、大学生活を送った場所。迷いはありませんでした。

ただ、庄原という土地に馴染みがあるとはいっても、大学時代は、一時的に過ごしただけ。今後ここで働き、暮らしていくとすれば、地域の人の長好な関係は不可欠だ。澄秋さんは、「一生懸命に農業をやっていくことで周りの人が認めてくれたら、そんな想いで仕事に取り組んだら、地域の人の心は、言葉に言えかけられるように、心で通じることが出来るよ」とアドバイスももらうこと。ここには農業の大先輩が大勢います。そんな人たちが見守ってくれていることは、本当に有難い。同時に、気が引き締まる思いでもありますね。

「ターンしてくる人は少なくない。周囲の人は、どんな人が来たのかな。何をやっているのかな」と興味を持ってもらえる。僕みたいな目立ちたがり屋には、特にオススメです。澄秋さん、目的意識を持って頑張る人を受け入れる柔軟な雰囲気。ここにはあるのだ。

澄秋さんの次の夢は、子どもたちの憧れの職業に「農業」が挙がること。今はまず、農業を一つの仕事として捉え、若い人も就業しやすいシステム作りに取り組んでいる。いつか、新しい農業の在り方を築いた。農業界の「ヒーロー」と呼ばれることを想像しながら。



働くお父さんの姿は、暉晴くんにも最高にカッコよく映っているに違いない。



「命をかけて農業と向き合っている彼は、頼もしい存在」社長の福本博昭さん。

広島市内で生まれ育ち、東京で暮らしていた千尋さん。便利な一方、電気が止まるとたちまち街全体の機能が成り立たなくなる。都市生活ならではの脆さを実感したという。「資源が豊富な田舎暮らしの方が、実は、暮らす力は強いんじゃないか」と感じ、祖先が建てた庄原の家に移り住むことを決意する。住む人がなく荒れていた家だったが、地元の人たちの協力を得て再生させることができた。

この古民家で、千尋さんが2011年5月にオープンさせたのが、「暮らし宿・お古」だ。食事は釜戸を使って自炊、お風呂は薪を炊いての五右衛門風呂、トイレは汲み取り式、携帯電話は圏外でテレビもない。そんな、昔ながらの日本の暮らしを体験し、学ぶことができる。都市に暮らす家族にとって、ここは田舎を知らない子どもたち、「暮らす力」を身につけさせる格好の場となっているよう。春は山菜採り、夏は野菜の収穫や川遊び、秋はお米の収穫、冬は雪遊びと、四季を通じて自然の豊かさ、厳しさを学ぶことができるのだ。

そして千尋さんは、亮一さんと結婚。自然の中での暮らしを一緒に楽しめる亮一さんに、生活面でも精神面でも大いに助けられているそう。亮一さんは、平日は会社

勤めをし、休日は宿の仕事や、敷内で始めた養蜂で一家の暮らしをサポートしている。

そしてこの春、菱さん夫婦のもとに新しい家族ができた。娘の絢音ちゃんが成長する頃には、この地に次世代のコミュニティを築くことが千尋さんの夢だ。「ここで、今の暮らしを楽しんでいるだけでなく、同じ志を持つ新しい世代で、自営の村を作りたい」と語る菱さん夫妻。地域の同世代家族と少しずつ交流しながら、未来の村づくりに向けたチャレンジを続けている。



宿泊客自ら、薪の釜戸でご飯を炊く。美しいタイル貼りは曾祖父によるもの。



お風呂に入るために、外に出て薪を焚く。そんな暮らしの手間も貴重な体験。

「暮らす力は、田舎の方が強いと感じます」

ひし ちひろ りょういち あやね  
 菱千尋さん(29歳)・亮一さん(32歳)・絢音ちゃん(0歳)  
 もりもと みちえ  
 森本美知江さん(62歳)  
 庄原市川北町にある、祖先が建てた家を再生し、移住。2011年5月に「暮らし宿 お古」を開業し、夫婦と長女の3人暮らし。隣の市に住む両親も暮らしをサポート。







ふくもと のりお なつ  
福元紀生さん(34歳)・奈津さん(35歳)  
ののの  
苳々花ちゃん(0歳)

原発事故を機に、福島から庄原市に移住。  
「ふくふく牧場」を営み、環境に負担をかける  
自然環境の価値を実践している。  
このチーズ工房もオープン。

本々に囲まれた小高い丘に建つ古い小学校。ここで「まなびや cafe」を営んでいるのが、大阪府から移住してきた手島亜希さん。この建物は、環境造形デザインなどを手掛けていた夫・秀作さんが、アトリエを兼ねた広い住居を探していた時に出会った物件で、当時の定住推進担当の職員が親身になってくれたことが、購入の決め手になったそう。

もともと田舎暮らしを望んでいた亜希さんは、「小学校に住むなんておもしろそう!」と移住に抵抗はなかった。それでも、誰ひとり知人のいない土地で暮らすのは少々心細い。「地域の職場で働いたり、町の消防団や集会に参加したり。自分から積極的に輪に入っていくことで、地域の人の繋がりを広げました。子どもが生まれてからは、遊び場として開放されている庄原市の「子育て支援センター」に通ったことが、地域のママたちと知り合うきっかけに。近年は、カフェをオープンしたほか、ママ友たちと実行委員会を立ち上げて手作り市やフリーマーケットといったイベントを開催するなど、同世代の人たちと町を盛り上げる活動に携わっている。

「虫や鳥、木、花に囲まれて暮らすのは最高に贅沢!」と語る亜希さん。



昭和48年に開校になった旧庄原小学校。秀作さんが2年かけてリフォームした。



かつての生業や先生が専任を兼ねてきたのをきっかけに、建物の一部をカフェとして開放。

ん。確かに、学校や店が並ぶエリア。降参事が多いことなど不便を感じることもあるが、自然の中での生活はそれを上回るほどの感動が味わえるという。子どもたちにとってもまた然り、カエルやトンボと戯れる我が子を見て、「扉前」に野生用として育っています。(笑)。いつか子どもたちが庄原を出て行くことになっても、生まれ育ったこの町のことはずっと好きでいてほしい」と亜希さん。この地を故郷として成長していく子どもたちと一緒にここで暮らしを楽しみたい、そう思いながら毎日過ごしている。

## 「自然の中での暮らしは、最高に贅沢です」

## 「人とのつながりから、“未来”が描けた」

「自然の中で、未来につながる事がしたい」との思いから、福島県いわき市で牧場を経営していた福元さん夫妻。しかし、東日本大震災と原発事故により、福島を離れることに。ジャージー牛と羊、鶏、犬と共に広島県三次市へ避難し、家と牛の放牧地を探していたところ、縁あって庄原市口和町を紹介される。原発事故の被災地からの移住とあって、動物を連れて引っ越すためには地元の理解が必要…。そんな心配もあったが、地元の自治会役員の人たちは福元さんが安心して暮らせるよう、事前に地域に説明をした上で迎えてくれた。古い家と牛舎を借りるもそれまでの牧場の十分の一の広さで、以前の暮らしを取り戻すのは遠い道のり。けれど、口和の人達の気持ちに触れ、人とのつながりがあるこの地に未来への希望を感じることができたことが、移住の決め手となった。



福元さん夫妻を歓迎して地元の人が手作りしてくれたという、牧場の看板。



モッツァレラチーズとリコッタチーズは、工房での直売と電話注文での発送。

取って与えている。それでもこのやり方を置く理由は、安心して口にできる乳製品をつくり、自然環境に負担をかけない酪農を実践したいから。その上で環境保護や食・命について考える場をつくりたい。今年春から始めたチーズ工房でも無添加で保存料や乳化剤を使わないチーズ作りをスタートさせた。

1月には娘の苳々花ちゃんが誕生し、忙しくも充実した日々を営んでいる福元さん。今後は、被災地の家族や子どもたち向けの保護も考えていきたいそう。「土地に負担をかけない暮らしのために、小型水力発電や森の手入れを学んで実践したい」という未来も語ってくれた。



ていぞう まつ  
手島亜希さん(38歳)・秀作さん(49歳)  
ののの  
推吹くん(7歳)・野乃香ちゃん(3歳)

秀作さんは岡山県倉敷市、秀作さんは大阪府大阪市出身。1997年に秀作さんが旧小学校を購入し、2000年、夫妻で大阪府から移住。現在は家族4人で、このカフェ兼住居に暮らす。



# 庄原市で暮らすための基本情報

a new life start from shobara

庄原市は中国山地のど真ん中、広島県の北東部に位置し、岡山県、島根県、鳥取県との県境があります。関西以西で最も広い面積を持つ地方自治体で、平成17年に1市6町が合併して誕生しました。

岡山県  
新見市

## 【庄原市について】

総面積 1,246.60平方キロメートル  
(琵琶湖の約2倍の広さ)

総人口 39,221人  
(住民基本台帳 平成25年3月31日)

人口密度 31.5人/平方キロメートル

自然環境 標高180~250mの盆地から中国山地の背骨となる1300m近い山々まで、大きな標高差の中に様々な自然環境があります。全域に気候がありますが気温や降水量は地域によって異なります。

施設環境 大型スーパー・総合病院/県立広島大学・県立農業技術大学校/公立高校4校/図書館・屋内アール/ゴルフ場・温泉施設などがあります。

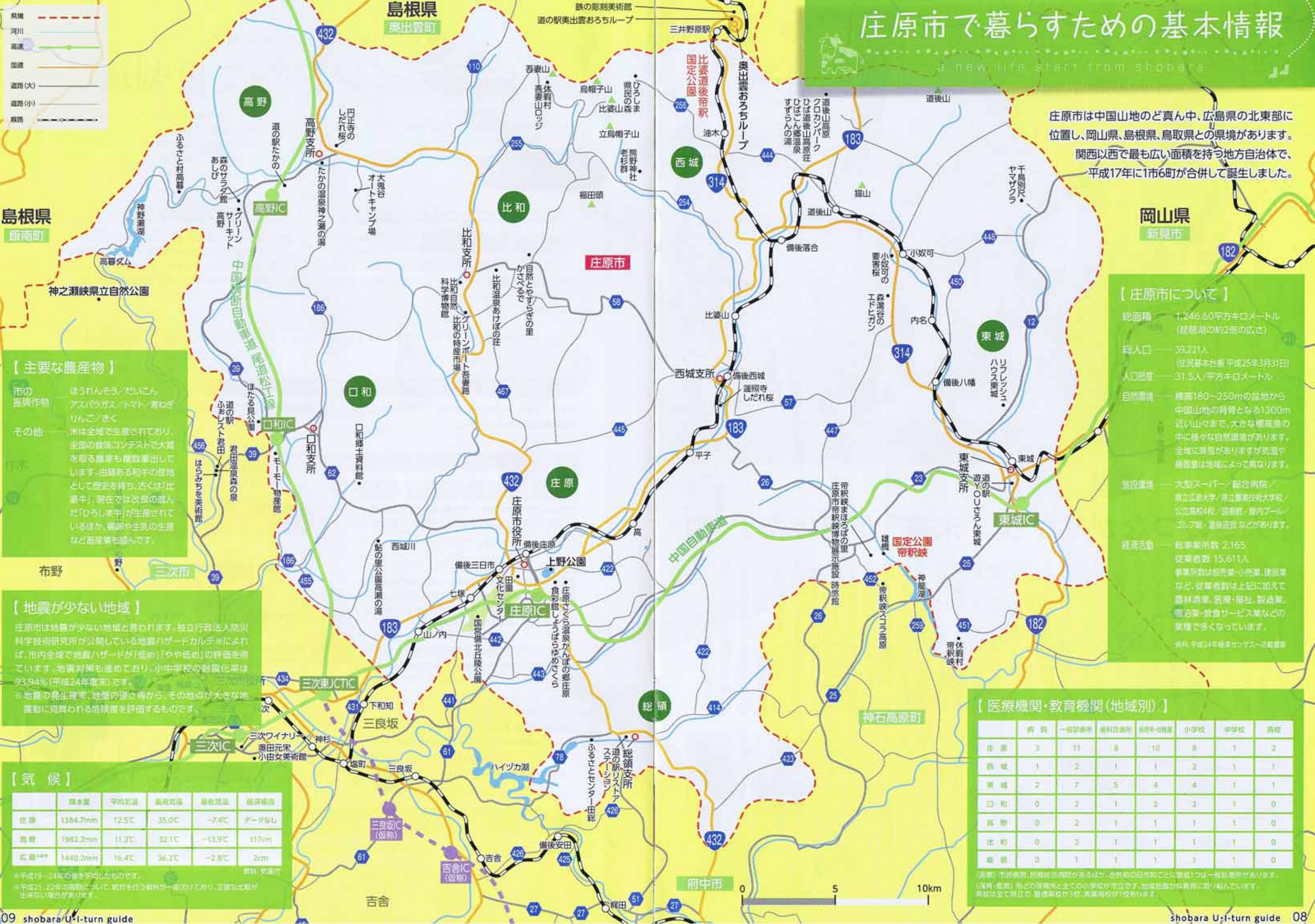
経済活動 一事業所数 2,165  
従業員数 15,611人  
事業所数は卸売業・小売業、建設業など、従業員数は上記に加えて製材業、製紙業・福祉、製造業、宿泊業・飲食サービス業などの業種で多くなっています。

資料：平成24年経済センサス-活動調査

## 【医療機関・教育機関(地域別)】

	病院	一般診療所	歯科診療所	特別養護施設	小学校	中学校	高校
庄原	3	11	6	10	6	1	2
西城	1	2	1	1	2	1	1
備前	2	7	5	4	4	1	1
口和	0	2	1	2	2	1	0
高野	0	2	1	1	1	1	0
比和	0	2	1	1	1	1	0
高城	0	1	1	1	1	1	0

(注) 市立病院、民間総合病院があるほか、合併前の田原町等に施設1つは一般診療所があります。  
(高野・高城) 各町の併存中と全ての小学校が市立です。高野台が4学年に限り併存しています。  
高校は全て市立で、普通科が3校、芸術科が1校あります。



## 【主要な農産物】

市の主要作物 ほうれんそう、だいにん、アスパラガス、トマト、青ねぎ、りんご、さくらんぼ

その他 米は全域で生産されており、全産の食米コンテストで大賞を取る農家も複数輩出しています。田舎ある和牛の産地として歴史をもち、古くは「比婆牛」、現在では改良の進んだ「ひろしま牛」が生産されているほか、鶏卵や生乳の生産など畜産業も盛んです。

## 【地震が少ない地域】

庄原市は地震が少ない地域とされます。独立行政法人防災科学技術研究所が公開している地震ハザードカルテックによれば、市内全域で地震ハザードが「低め」「やや低め」の評価を受けています。地震対策も進めており、小中学校の耐震化率は93.94%(平成24年度末)です。  
※地震の発生確率、地盤の硬さ等から、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度を評価するものです。

## 【気候】

	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	積雪積雪
庄原	1384.7mm	12.5℃	35.0℃	-7.4℃	データ無し
高野	1982.2mm	11.2℃	32.1℃	-13.9℃	117cm
高城***	1440.2mm	16.4℃	36.2℃	-2.8℃	2cm

※平成19~24年の値を平均したものです。  
※平成21、22年の高野について、統計を任う資料が不足しており、正確な比較が出来ない場合があります。



# 農

のうぎょう

## 知っておきたい

農業には特有のルールが多いため、関係機関への早めの相談が大切です。農地の使用、売買には、通常は農業委員会への届出が必要です。特に売買の場合は必要な条件があります。また、稲は作付面積が制限されているため、必要な手続きを踏まないと作ることができません。

## 支援制度

### 【新規就農者総合支援事業】

市内にある県立農業技術高等学校での研修費の一部を補助する制度ほか、多様な支援制度があるため、まずはご相談ください(殆どの補助制度は45歳未満の方を対象としています)。



段階に応じた支援制度を用意しています。家庭菜園なら指導料やご近所の漁人に教えてもらうことができます。

# 職

おしごと

## 知っておきたい

就職先を探すなら、一般的な方法はハローワークです。インターネットで全国から情報閲覧ができます。人のつながりがあれば、伝手(つて)も有効な手段です。起業を考えるなら、市、県、国、民間等に様々な助成制度があります。

ハローワークインターネットサービス  
https://www.hellowork.go.jp

ハローワーク庄原  
TEL:0824-72-1197



## 支援制度

### 【転入定住者起業補助金】

移住者が企業する際に補助する制度です。審査会を実施し、採択された方には対象経費の3分の1を補助します(上限200万円)。\*審査会等の都合上、毎年度締め切りがありますのでご注意ください。



時期や職種にもよりますが、意外と求人があります。近隣市町も含めれば、更に選択肢が広がります。

# 地域

ちいき

## 知っておきたい

庄原市には自治振興区という住民自治組織があり、環境整備や防災、地域おこしなどに取り組んでいます。更に小さい自治会や、常会、組といった単位もあり、ご近所の葬儀の手伝いや神社の行事などにも関わっています。男性であれば消防団に誘われる場合もあります。自分の入る地域ではどのような取り組みがなされており、自分にどのような役割があるのか、地元の方に訊いてみましょう。ご近所づきあいや地域行事などは、過度の負担にならない範囲で、積極的に関わっていくことが、早く地域に溶け込むコツです。

## 支援制度

移住者の受け入れに取り組んでいる振興区では、コーディネーター(地域マネージャー)を配置し、市と協力して移住希望者のフォローにあたっています。ちょっとした困りごとなども相談に乗ってもらうことができます。



ご近所の結びつきの深さは、慣れれば都会には無い安心感を得られる。田舎ならではの強みです。

# 育

そだてる

## 支援制度

### 【子育て支援センター】

子育てに関する相談・子育て情報の提供・子育て家庭の友だち作りや交流の場の提供、子育てサークルの活動支援などを行い、子育てを応援しています。

### 【出産祝い金】

庄原市で誕生した乳児の保護者に、第1子・第2子は20万円、第3子以降は35万円を交付します。

### 【ファミリー・サポート】

育児を応援してほしい人と、育児を応援したい人が会員になり、相互に関わり合って、安心して子育てをするための相互援助活動です。

### 【放課後児童クラブ・放課後子ども教室】

放課後や長期休みの間に、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。

### 【乳幼児等の医療費助成制度】

小学校を卒業するまで、乳幼児・児童が医療機関を受診する際の医療費(自己負担分)の一部を助成します。



WAN!



## 庄原市で暮らすための支援制度

# 移住のポイント & 支援制度

a new life start from shobara

## 特に大切なこと

### 現地に足を運び、地元の人と話をする!

田舎の生活は、都会よりもご近所付き合いや自然環境などからの影響を大きく受けます。都会のように、「家と仕事が決まればOK!」とはいきません。移住を決める前に、実際に足を運び、地元の方に地域のことを教わったり、関係を築いておくことが大切です。

### 自分でも調べよう!

不動産の取り扱いや法律など、専門の事業者等のサポートを受ける場合でも、自分の意思をより正確に反映してもらうには、自らも知識を持つことが大切です。インターネットや雑誌、地域の方や先に移住した方、複数の事業者への聞き取りなどを活用して広く情報を得てください。

# 住

すまい

## 知っておきたい

家を探す方法には、宅建業者、空き家バンク、公営住宅があります。売買物件や古民家を探されるなら宅建業者か空き家バンクです。

## 支援制度

### 【空き家バンク】

市内の空き家を有効活用し、定住促進につなげる制度で、利用には登録が必要です。賃貸借・売買共に情報がありません。

### 【転入定住者住宅取得及び改修補助金】

移住者が住宅を新築・購入・改修される際に補助する制度です。補助率は、新築・購入については費用の10%(上限100万円)、改修については費用の20%(上限50万円)。子育て世帯には更に加算があります。

### 【市町村設置型浄化槽整備事業】

公共下水道等が未整備の地域で、下水の処理に用いる浄化槽の整備に対して補助する制度です。

### 【新婚世帯定住促進補助金】

夫婦とも40歳未満の新婚世帯が民間の賃貸住宅に住む場合、月額家賃から3万円を引いた金額を補助します(上限2万円)。

## 空き家バンクの仕組み



当事者間で交渉・契約

\*不動産業者が仲介する場合があります。



## その他の支援制度

高速バス通勤通学支援、生ゴミ処理機購入費補助、ペレットストーブ・ボイラー・薪ストーブ購入費補助等の制度があります。

\*このページで紹介している制度は、平成25年7月1日時点のものです。

## 注意!

支援制度には細かいルールや、申請期間・件数等の制限があります。気になる制度は必ず予め詳細をお問い合わせの上、利用できるかどうかをご確認ください。